

CAEとAI活用、最適化

企業内でCAE業務を担う人材は限られ、長時間の計算に悩む現場も少なくありません。近年はAI技術の発展により、学習モデルを用いてCAE計算を大幅に短縮する手法が注目されています。また、寸法・構造・トポロジー最適化などの自動設計技術にも関心が高まっています。本セミナーでは、こうした最新のCAE×AI技術を中小企業の技術者にもわかりやすく解説します。

日時

2026年 2月18日 水
13:00-17:00 (受付: 12:30~)

場所

名古屋市工業研究所 視聴覚室
(電子技術総合センター1階)申込締切
2/16
(月)

定員 50名

内容

13:05~14:05 AIの歴史とCAEへの応用
~AIを知り、仕事に活用しよう~

本講演ではAIが普及した経緯と、AIを理解する上で重要な基本技術を説明し、CAE技術者が業務で利用できるAI技術とAIを利用する際の注意点について、講演をします。

14:05~14:45 デジタル技術によるものづくりプロセスの革新
~CAEに新たな価値をもたらす機械学習/AI技術とシミュレーション
データマネジメント~

弊社におけるDX実現に向けたCAEの新たな取り組みとして、シミュレーションデータ管理システムおよび、AI・機械学習の活用事例についてご紹介します。

14:55~15:55 トポロジー最適化の基礎と実装の最前線

CAE技術のひとつでパワフルな設計ツールである「トポロジー最適化」の基礎と最適設計事例について解説します。また、モノづくりの現場への実装に向けた取り組みについて紹介します。

・名大発ベンチャー企業(株)FAIの取り組み事例紹介
(株)FAI 取締役COO 森部 天仁 氏

15:55~16:35 講師を交えてのフリートークン グ ファシリテーター: 水野 雅彦 氏

講師の先生方を交え、今回のテーマについて参加の皆様で自由に意見交換しましょう。

16:35~17:00 名刺・情報交換会

講師

岩田 進吉 氏



(有) イワタシステムサポート
代表取締役

武田 雅弘 氏



(株) JSOL
CAEプロフェッショナル

加藤 準治 氏



名古屋大学大学院
工学研究科 教授

お申込み
お問合せ

メールまたは申込フォームにてお申込みください

 <https://forms.gle/oTcF8VUuwo9F4NAG6>

(公財) 名古屋産業振興公社 産業連携推進部

 052-655-5020  cae@nipc.or.jp

受付終了後、フォームから回答コピーがメール送付されます。メールが届かない場合はお手数ですが、お問合せください。

【共催】 CAEを活用したものづくり研究会 (公財) 名古屋産業振興公社 名古屋市

<個人情報について>

ご記入いただきました個人情報は本講演の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要とされる範囲で利用させていただきます。主催者以外の第三者への提供は一切行いません。